



日本キリスト教団
三軒茶屋教会

三軒茶屋 教会通り

〒154-0024
東京都世田谷区三軒茶屋 1-31-5
TEL/FAX : (03)3418-4933
発行：三軒茶屋教会

四年に一度開かれるキリスト教共
励会（略称「CE」）世界大会が、
七月中旬ハンガリーで開催され、日
本から十数名の信徒と共に出席しま
した。今回の主題は、「神の民ーキ
リストにあつて一つ」。共励会本来
の趣旨に照らして、現代の課題にふ
さわしいものでした。私が特に関心
を覚えたのは、かつての東欧共産圏
の国で開かれるという点でした。
首都ブダペストに着いた私たちが一
行は、ドナウ川を挟んで形造られた
歴史の街を
バスや徒歩
で見学、夜
はドナウ川
クルーズを
体験しまし
た。ここは
文化遺産の古い王宮や教会堂など、
また二十世紀の動乱の記憶を印した
ものなどを併せ持った不思議な観光
都市と言えます。次いで世界大
会の会場、首都近郊のゲデレー大学
に入りました。
参加国は二十四ヶ国、地元の人び
とを加えて一千名弱。今回はアジア
からの参加が少なく（韓国など不参
加）、いやでも日本が目立つ存在に
なりました。プログラムは五日間に
亘って組まれており、世界CEのラ

ハンガリーで感じたこと

牧師 陣内厚生

バタイ会長（サモア代表）の挨拶、
基調講演、奨励や証し、合唱讃美、
各国代表団の紹介、各国語による聖
書研究の時間、祈禱会、毎晩一〇時
からの青年アワーなど盛り沢山。
日本紹介の時間では、持参した浴
衣姿で団扇を持って登壇。私の下手
なスピーチ、皆の合唱、独唱をもつ
てアピールしました。中でも田附兄
夫妻の同伴した一歳半の真奈ちゃん
が会場の人気を集めたのは、予想せ
ぬことでした。日本グループには今

回五人の若者が参加したのですが、
彼らが積極的に他国との交流をもつ
たことはうれしいことです。
ところで、ハンガリーのキリスト
教はカトリックが八〇%、ギリシャ
正教一五%、残り五%がプロテスタ
ントというわけです。それは旧共産
圏の時代から変わらず、内実は共産
主義を受け入れない精神性だったと
聞きます。特にプロテスタント教会
は、民主化へのオビニオンを持って
いるとの印象を受けました。またハ



ンガリーの教会青年たちは、世界に
目を向け、災害地への救援派遣や途
上国へのボランティアに取り組んで
いることを報告していました。
私たち参加者が唯一招かれて訪れ
た改革派教会で、私たちのためのコ
ンサートが開かれました。親しみの
感じられる礼拝堂に座り、聖歌隊に
よる合唱、パイプオルガン独奏など
聴かせて頂きました。さすがにレベ
ルの高い演奏。教会側の暖かいもて
なしを感じるひと時でした。

さて、世界CEに
は現在八〇ヶ国を超
える教会教派が加盟
しており、ロシアを
はじめ旧共産圏の国々
も多くあります。私
は、今期中にルーマ
ニアの代表からインタビューを受け
ました。日本の情報がほとんど入ら
ない。ルーマニアの共励会機関誌に
紹介したいので教えてほしい、とい
うわけです。なるほど、島国・日本
の中で自己満足せず、目を世界に開
かねばならないと思われました。
帰途は、ウィーンに立ち寄り、ホ
テルで感謝の主日礼拝をメンバー全
員で守りました。モーツァルト生誕
二五〇周年に賑う音楽の町で、旅の
意味を反芻したことです。